

インテンシブ・フランス語

第 II 期 シラバス

慶應義塾大学 SFC フランス語教室

2012 年秋学期

SFCにおけるフランス語教育は、実際に使えるフランス語を身につけることを第1の目標としています。従来の、一方的に文法知識を詰め込むという方法から脱皮し、インタラクティブな授業を進める中で、聞く・話す・読む・書くの4つの技能を総合的に養います。

教科書はインテンシブ1期に続いて *Tempo1* を使います。今学期は Unité 6 から Unité 12 まで進んで教科書を終わらせます。

インテンシブでは教科書は使うものの、これはあくまで学習の補助手段ととらえているところが大きな特徴です。生きたフランス語は1冊の教科書の中に閉じ込められているわけではありません。我々教員も随時様々な補助教材を利用して、みなさんの知的好奇心を刺激しながら、教室での授業を運営していきます。みなさんには知識に対する食欲さ、自分を表現し、他人を理解する意欲を十分に見せて欲しいと思います。

インテンシブ・コースは1期から4期まで、次のように総合的に設計されていますので、本格的に力をつけたい諸君にはぜひそのコースに沿って履修していただきたいと考えます。国内研修と海外研修の詳細については、シラバスの各項目をご覧ください。

**インテンシブ1期 → 国内研修 et/ou 海外研修 → インテンシブ2期
→ 海外研修 et/ou 国内研修 → インテンシブ3期 → 海外研修 et/ou 国内研修 →
インテンシブ4期**

塾外実力試験としては、インテンシブ1期修了後の次の学期に DELF 試験の A2 をクリアするのが目標です。

大切なのは、授業に積極的に参加することにつきます。教室の中はひとつのシミュレーションの場ですから、間違えることなど恐れずに、提示される状況の中でどんどん「行動」して「場数を踏んで」ください。外国語学習の初歩では、進歩は勉強にかけた時間に比例します。

質問がある場合は、λ310 のフランス語研究室へどうぞ。ここには教員だけでなく、CA（コーディネーターアシスタント）、TA、SAがいます。気軽に足を運んでくださいまたフランス語研究室からの連絡はメールか、HPで行います。 [http:// french.sfc.keio.ac.jp/](http://french.sfc.keio.ac.jp/) はいつも見るようにしてください。では...

Allons-y !

教材

全授業共通

基本の教科書：

Tempo 1 livre de l'élève, Didier / Hatier (生協で購入)

Tempo 1 の音声：

<http://french.sfc.keio.ac.jp/ongen/ecouter.html>

からダウンロード

文法 (grammaire)

日本語文法補助教材(grammaire で使用)：

教室で配布

日本語補助教材の音声：

[http:// french.sfc.keio.ac.jp/tempo/](http://french.sfc.keio.ac.jp/tempo/)

動詞活用 WEB：

<http://fuf.sfc.keio.ac.jp/netdes/conju-sound/index.html>

このページで順次動詞の活用を覚えていきます

聞く

発音教材音声：

発音音声教材のダウンロードおよびストリーミング用URL

<http://web.sfc.keio.ac.jp/~kunieda/phonetique/>

iTunes用ダウンロードURL

<http://fuf.sfc.keio.ac.jp/phonetique2007/>

その他自習で使える WEB 教材

(1) 「フォローアップ・フランス語」 SFC フランス語教室制作：

<http://fuf.sfc.keio.ac.jp/>

で、動画で楽しく文法が学べます。

(2) «Podcast !»SFC フランス語教室制作：

<http://frip.sfc.keio.ac.jp/#3>

自分の i-Tunes にインテンシブ 1 のヒアリング問題をダウンロードしよう。

printemps 2008 がみなさんに適したレベルです。

マルチリンガル・スペース(MMLS)

メディア・センター2 階は「マルチメディア・マルチリンガル・スペース」があります。その居心地の良い空間には CD-ROM、CD、ビデオ、雑誌、新聞、辞書、参考書（仏検、DELF・DALF 参考書も）などフランス語の勉強に必要なものは何でもそろっています。また、フランス語共同研究室隣の λ309 にもフランス語版 MMLS があります。ここには初級から中級までのフランス語の絵本、漫画、小説などもそろっています。教員や TA、そして SA もすぐ近くに居るので、何か質問があればいつでもたずねることができる贅沢な空間です。その上、フランス語の衛星放送 TV5 も見ることができます。あとはあなたのやる気次第。どんどん利用して、フランス語の達人になりましょう！

時間割

	火		水		木		金	
	1 限	2 限	1 限	2 限	1 限	2 限	1 限	2 限
FA	Gaillard			北村	國枝			Maréchal
FB	井上			Leroy	Rabahi			野澤

全クラスとも、授業は 50 分×2 で、週 4 回。

授業の内容と進め方

授業内容の詳しいプログラムは、授業初回時に配布します。授業進行の概略は次の通り。

- U6 : « Mes voyages » ある場所について話す、など
 U7 : « Rendez-vous » 打ち合わせの時間を決める、など
 U8 : « Portraits » 描写する、など
 U9 : « Objets » 値段を尋ねる、比較する、など
 U10 : « Evénements... » 過去の出来事について話す、など
 U11 : « Histoire... » まとまりのある話を語る、など (U12 の前に U11 を行います)
 U12 : « D'hier à demain » 未来について話す、など

授業は 4 人の教員（日本人、フランス語ネイティブ）が、聞く・話す・書く・文法にそれぞれ重点をおいて行います。

聞く：重要な情報を抜き出したり、キーになる表現を書き取ったりしながら、フランス語の音に慣れていきます。

話す：文字にたよらず、他の 3 回で習っていることを使いながら、発信能力を高めます。

書く：モデルとなるテキストを読解し、それにもとづいて、文の構造がきちんと組み立てられるように、作文を行います。

文法：フランス語の文法の仕組みを理解します。

	<FA>	<FB>
聞く (Compréhension orale) :	北村	井上
話す (Expression orale) :	Gaillard	Leroy
書く (Expression écrite) :	Maréchal	Rabahi
文法 (grammaire) :	國枝	塩田

日本人／フランス人の役割分担は特になく、日本人講師も必要に応じてできるだけフランス語で授業をします。またそれぞれ 4 つの活動に分れていますが、教科書は同じですし、それぞれを複合的に連関させて授業を組み立てていきます。

期末試験日程

1 月 8 日 (火)	FA (話す)	FB (聞く)
1 月 9 日 (水)	FA (聞く)	FB (話す)

1 月 17 日 (木)	FA (文法)	FB (書く)
1 月 18 日 (金)	FA (書く)	FB (文法)

成績評価の方法

聞く・話す・書く・文法 各 25 点	合計 100 点
--------------------	----------

聞く・話す・読む・書く各 25 点の内訳は初回のオリエンテーション時に説明します。また授業外の課題もみなさんの学習進行状況をみながら、柔軟に導入していきます。

Conférence / Grande Rencontre

今学期はレクチャーを 2 回と la Grande Rencontre (インテンシブフランス語を履修している学生が一同に集まる会です) を 1 回予定しています。

- 10 月 10 日 (水) **Grande rencontre avec un invité (OKUDA Tomohito, ancien étudiant de SFC)**

- 11 月 13 日 (火) **Conférence 1**: 杉原 賢彦 (映画批評/慶應義塾大学講師)

「フランス / 映画 / 社会 ~ 映像が映し出したフランスとそのイメージ」

12 月 13 日 (木) **Conférence 2**: Florian Aubry (SFC 講師)

- 「La Réunion って、フランス？」
- Conférence, la Grande Rencontre は、インテンシブコースの一環です。
- Conférence, la Grande Rencontre の日は、インテンシブの通常の授業は行いません。
- 時刻・場所は後日、メールおよびフランス語セクションのホームページで明示します。

国内研修

東京日仏学院で春休み、夏休みに行われる SFC オーダーメイドの短期集中特別コース。午前中は少人数クラス (12~16 人/クラス) によるフランス語学習、午後は各種アトリエに選択参加。他大学の学生と机を並べ、充実した勉強をすることが出来ます。参考までに、昨春の研修内容は以下のとおり。

- 2012 年春の研修概要

時期: 2012 年 3 月 19 日~3 月 30 日

授業時間数: 65 時間 (+文化的活動、夕食会など)

費用: 98,000 円

海外研修

以下の 7 カ所で、年 2 回実施 (春季、夏季) しています。2 単位と 4 単位の 2 種類の研修があります。詳細は学期中に催される海外研修説明会で説明します。

フランシュ=コンテ大学応用言語学センター CLA (ブザンソン)、グルノーブル第 3 大学フランス語教育センター、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ルーアン、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・マルセイユ、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ボルドー、クレルモン=フェラン大学協定校 (ヴィシー)

ラジオ・テレビ

NHK のフランス語講座の時間帯は次のとおりです。ぜひ活用してください。

ラジオ：まいにちフランス語 月～金曜 午前 7:30-7:45 (再放送 月～金曜 午後 2:30-2:45)

アンコールまいにちフランス語 月～金曜 午前 11:00-11:15

テレビ：水曜午後 10:25～10:50 (再放送 水曜午後 00:00～0:25)

<http://www.nhk.or.jp/daily/french/>

日本のニュースをフランス語で聴けます。

<http://www.radiofrance.fr/>

フランスのラジオ局（複数）の放送が聴けます。

<http://jt.france2.fr/>

フランスの公共放送局 France 2 のニュースを視聴できます。

<http://www.lemonde.fr/>

フランスの高級紙 *Le Monde* を読むことができます。

DELFDALF

DELF および DALF という「フランス文部省認定フランス語資格試験」は、1986年5月より行われているフランス文部省認定フランス語資格試験で、セーヴルの中央機構 *Commission Nationale* 全国委員会の管理のもと世界 150 余カ国で実施されています。

DELF・DALF はいわば世界標準的な資格ですから、フランスやフランス語圏の国に留学する際、言語資格面での保証となります。日本で各種奨学金試験に応募する際にも、その資格は仏検と並んで多くの場合強い味方になります。

DELF は A1, A2, B1, B2 の 4 段階、DALF は C1, C2 の 2 段階に分かれています。A1 クリアの力を身につけるのが、インテンシブ 1 の目標です。詳しくは DELF/DALF 試験管理センターの URL を参照してください。

→ <http://www.calosa.com/delfdalfjp/index.html>

(SFC フランス語研究室のホームページにリンクが張ってあります。)

TCF

TCF (*Test de Connaissance du Français* フランス語能力テスト) はフランス文部省公認の世界共通の、フランス語圏以外の国の人々を対象としたフランス語能力診断テストです。試験結果は合否でなく、得点で示されます。獲得得点は 2 年間有効です。試験は内容別に 3 つ (読解, 文法, 聞き取り) にわかれ、フランス語の総合力を確実に診断するとしています。

SFC は TCF の実施会場の一つです。試験は現在のところ 7 月の土曜日に実施予定ですが、詳細についてはメール等で改めて連絡します。

<http://www.ifjtokyo.or.jp/cours/examens/types.php>

Niveau du Conseil de l'Europe 欧州評議会設定レベル	TCF	DELF/DALF
		F

レベル 6	非常に優れたフランス語の運用能力を持。読むもの、聞くものの全てを即座に理解し、且つ的確に要約することが出来る。複雑なテーマについても、様々な形で、ニュアンスを交えつつ流暢に意見を述べる事が出来る。	600～699 点	DALF C2
レベル 5	フランス語の優れた運用能力を持つ。含みのある難解な長文テキストであっても、その殆どを解し、自分の社会的な立場や仕事、学問との関わり、あるいは他の複雑なテーマについても、流暢且つ論理的に述べる事が出来る。	500～599 点	DALF C1
レベル 4 autonome	フランス語を全般にわたって自主的に運用出来る。複雑なテキストの要点を理解すると同時に、一般的あるいは専門的な内容の会話に加わり、筋の通った意見を明確且つ詳細に述べる事が出来る。	400～499 点	DELF B2
レベル 3 seuil	フランス語を効果的にマスターしているが、限界がある。身近な分野の明快で標準的な表現なら理解する。旅行先で会話をこなす、自分に興味のあることを話すことが出来る。計画やアイデアに関して短く説明することも可能。	300～399 点	DELF B1
レベル 2	フランス語の初歩をマスター。身近な分野の単文を理解。慣れた状況でならコミュニケーションが可能。自分に関する問題を単純な手段で表現出来る	200～299 点	DELF A2
レベル 1 survie	フランス語の基礎レベル。日常生活での単純且つ具体的な状況を理解する。相手がゆっくり話すなら、簡単なコミュニケーションも可能。	100～199 点	DELF A1

仏検（実用フランス語技能検定試験）

◇ 春の仏検には準1，2，準2，3，4，5級の各試験があります。

1次試験： 11月18日（日）

2次試験： 2013年1月27日（日）（準2級、2級、1級の1次試験合格者のみ）

仏検受験要項、申し込み用紙はλ310フランス語研究室前に置いてあります。

◇ フランス語研究室では団体申込みを行います。受験料が5%安くなります。

申し込み期間は、追ってHPやメールで知らせます。

●問い合わせ先：

詳しいことは次のHP参照：<http://apefdapf.org/>

財団法人フランス語教育振興会 仏検事務局

tel.：03-3230-1603 fax：03-3239-3157

MMLSに、過去の問題集（カセット付き）があり、フランス語研究室前にはパンフレットなどが置いてあります。また個々の相談にも応じます。チャレンジしよう！